

本書の構成

本書は「第1部 免疫・アレルギー疾患の分子標的用語」「第2部 免疫・アレルギー疾患の病態と分子標的治療」「分子標的治療薬/阻害薬ライブラリー」から構成されています。

免疫・アレルギー疾患治療の標的となる分子および分子標的治療薬について、分子の生理作用や疾患とのかかわりなどの基礎的な知見から、効果や適応など臨床での最新の情報まで網羅しています。なぜターゲットとして注目されているかを調べることはもちろん、治療薬・阻害薬名からその標的となる分子を引くこともできます。また、病態ごとに分子標的治療の最前線も解説しているので、免疫・アレルギー疾患研究と分子標的治療の全貌を多方面から理解できます。

第1部 免疫・アレルギー疾患の分子標的用語

第1部では免疫・アレルギー疾患治療の分子標的に関する用語（主に標的となる分子）についてカテゴリごとに整理し、解説しています。

● 概論

各章のカテゴリごとに、研究の進展状況、用語同士の関係性や治療薬の作用、開発への展望などを、概略図を交え解説しています。

● 用語

研究の歴史から、機能や疾患との関連性まで、用語ごとに見開きページでコンパクトにまとめました。

- 本分子の研究の経緯
- 分子構造
- 機能・役割
- 疾患との関連性・臨床的意義

各章の用語一覧

概略図

関連する分子標的治療薬

分子標的治療薬/阻害薬ライブラリーにて取り上げている薬剤名は太字で示しています

第2部 免疫・アレルギー疾患の病態と分子標的治療

第2部では疾患ごとに、病態、発症の分子メカニズム、分子標的治療の最前線について解説しています。

関連する分子標的治療薬

分子標的治療薬/阻害薬ライブラリーにて取り上げている薬剤名は太字で示しています

参照しあうことで分子標的治療の全貌が掴めます

国内承認薬から臨床試験中の分子標的治療薬まで、アルファベット順に並べ、それぞれの薬剤ごとに使用法や作用機序などをまとめています。別名も併せて記載していますので、商品名・開発コードからもお引きいただけます。

Basic Data

- 構造式
- 別名（商品名、開発コード）
- 適応状況
未承認薬の場合、臨床試験の最新状況を取録しています。開発が中止された薬剤の場合、その経緯や理由を記載しています
- 標的分子
第1部にて取り上げている標的は参照ページを明記しています
- 薬剤の種類
- 分子量 (MW)

発症メカニズムや分子標的治療薬の作用機序などを、図表にまとめています